

◇干潟の授業（座学）と干潟観察会を開催しました

平成 26 年 10 月 6 日 泡瀬干潟にて、沖縄市立教育研究所の 9 名の子供たちと 4 名の職員および研究教員 4 名と、干潟観察会を開催しました。当日は、教育研究所にて、干潟についての授業を行い、その後、皆で泡瀬干潟へと車で移動し、干潟観察を行いました。今回は、前にも一緒に散策した干潟の自然に詳しい先生 1 名を講師としてお招きしました。教育研究所の室内の座学では、まず簡易な実験として、二枚貝（本土産：スーパーにて購入）を用いた海水の浄化実験を実施しました。干潟は台風の影響はなく、快晴で、上空を見ると太陽が少しいつもと違うような・・・これは「ハロー現象」というらしい。干潟では、カニの仲間や様々な貝の仲間、魚の仲間などが観察できました。子供たちは、夢中で生き物探しをしていました。中でも、ナマコは、最初のうちは棒の先などでツツンしていたのが、最後には恐れず、果敢に手に取って触れ合っていました。観察した生き物たちは、その場にやさしく放し、観察の際には、岩の下を見たら元の位置に戻すなど、生き物の家（棲家）ということ意識して、「おじゃまします」という精神でのぞみました。干潟観察が終わって、再度、教育研究所に戻り、実験の結果を皆で確認しました。貝の動きで、汚れた海水がきれい(?) になっているのが分かりました。

